

## 初登庁訓示

おはようございます。

この度、村民の皆様のご信託をいただき、東海村長に就任しました。

私は、副村長として、皆さんと3年余り一緒に仕事をして参りましたが、これまでとは全く違い、大きな責任を感じて、この場に立っています。今後4年間の村政運営の舵取り役という重責を担うことになりましたが、私自身、人生を賭けて、この職責を全うしていく覚悟ですので、職員の皆さんも気持ちを新たにして、業務に取り組んでいただきたいと思います。

今回の選挙では、4期16年を務められた村上前村長の村政をどのように引き継ぐのかということが注目されていたように思います。特に、原発問題がクローズアップされていました。東海村にとって、原子力問題は、大変重要なテーマであることは認識しておりますが、同時に、村民福祉の増進を図り、様々な行政課題にも対処していくという基本的な村政運営も非常に大切ではないかと考えております。

私は、東海村には、未来を拓く人材と地域を豊かにする資源が備わっていると思います。そして、今、このポテンシャルを活かしながら、村政運営も新たなステージに入っていく時期に来ていると感じております。

今回の選挙戦の中では、「持続可能なまちづくり」を訴えて参りました。

- ① 環境と農業をバランス良く推進していくために、土地利用に関する新たな施策を導入し、真に豊かな「街づくり」を目指す
- ② 福祉と教育の維持・向上に努めるとともに、将来の地域の担い手となる「人づくり」を目指す
- ③ 村の特性を活かした新たな地域振興や商工・観光への積極的な支援により、地域の「活力づくり」を目指す

これらの考え方は、今後、具体的な施策としてとりまとめていかなければなりません。そのためには、行政の考えをベースに、村民の皆様の意見を村政に反映させていくことが必要であり、職員の皆さんの役割が大変重要であります。私は、皆さんの能力が最大限発揮できる環境を作って参ります。

大変厳しい社会情勢の中ではありますが、村民の力、職員の力を結集して、新しい東海村を創って参りたいと考えております。職員の皆さんには、私の思いをしっかりと受け止めていただき、私とともに、力を合わせながら一層の尽力をお願いいたします。

今日は、これから一緒に仕事をしていく皆さんに、私からお願いしたいことが2つあります。

一つは、情報発信力の強化です。自治基本条例が施行され、村民の方々に村政に参画して頂くためには、何と云っても、情報の共有が一番大事な要素となって参ります。まず、役場が積極的に情報を発信していかなければなりません。村民にとって必要な情報とは何か？イベントの告知や単なる結果の周知だけでなく、役場が取り組んでいる状況等についても、必要に応じて発信していく姿勢を忘れずに、常に考えていただきたい。特に、管理職にある部課長に意識して取り組んでもらいたい。

もう一つは、仕事に対する姿勢・意欲です。

私は、7月の副村長退任式で、皆さんに2つの言葉を送りました。

- ・できない説明より、やる方法を考える
  - ・どれだけ知っているかではなく、どれだけやったか
- どうでしょうか？実践されているのでしょうか？

今日は、あえて、同じような意味ですが、論語の中の一説を送ります。

「君子は言に訥にして、行に敏ならんと欲す」

言葉は、人を魅了します。言葉の力は時として想像以上の効果を発揮するものです。しかし、実際に、世の中を変えていくのは、行動です。黙っていても行動があれば、少しずつ変化が生じ、人々はそのことに気が付きます。たとえ、美しい言葉を山のように積み重ねても、それに伴う行動がなければ、最後は人から見放されます。言葉は少なくとも、迅速な行動をすることが大切なのです。

机上で、議論ばかりしていても、問題は解決しません。とにかく、スピード感を持って行動しましょう。

村を取り巻く状況は、原子力問題をはじめとして、大変厳しく課題も多いと認識しております。そうした中、私は、村民の意見に耳を傾けながら、オール東海のを結集して、丁寧な行政運営に努めていきたいと考えております。

私が先頭に立って汗をかいていく覚悟でいますので、皆さんも一緒に一丸となって取り組んで参りましょう。

以上、初登庁に際しての訓示といたします。

どうぞよろしく願いいたします。

東海村長 山田 修